



すみだだより

令和7年6月30日 校長 深谷 純一

体育行事の応援ありがとうございました

高等部の体育祭に続き、小学部低学年の体育授業発表会、小学部高学年から中学部の運動会も無事に開催することができました。体育授業発表会では、すぐそばで見ている保護者のもとへ行きたい気持ちをぐっと抑え、練習してきた成果を発揮しようと頑張っている姿が印象的でした。徒競走ではスタート位置、周回コース、ゴール後の動きなど見通しをもって取り組んでいたことは日頃の練習の成果だと感じました。運動会は、校内ではなく校外の施設をお借りしての実施でした。練習も数回しかできませんでしたが、回数を重ねるごとに、どこで何をすべきかが明確になっていました。運動会になると「競争」という要素も強くなってきます。その過程から友達を応援したり、協力したり、友達同士で助け合う行動も自然と生まれていました。学年が上がるたびに子供達の新たな成長を感じることができました。日頃の指導の積み重ねなしに本番での成功はありえません。これからも日々の授業を大切に、子供達の成長を支えていきたいと思えます。保護者の皆様には、お忙しい中、多くの方に御参観いただき、ありがとうございました。保護者の皆様の応援が子供達のやる気を引き出し、素晴らしい成果につながったと思います。これからも本校の教育に御理解・御協力をお願いいたします。

水泳指導が始まりました

体育行事が終了し、間もなく子供達の水泳指導が始まりました。年々、暑さが厳しくなっているだけでなく、本校は室内プールの仕様となっており、空調ありません。そのため、プールの室温・水温が屋外プールより上がりやすい環境的な課題がありました。そこで、今年度は水泳指導期間を6月中旬から9月のところを5月下旬から7月に時期を早める対策をとりました。残念ながら今年は気温が上がったり下がったり乱降下する気候で、5月末は寒い日が続き入水できませんでしたが、6月からは安定してプールに入ることができています。プールでの運動は「身体的な健康促進」「精神的なリラクゼーション」の効果があることはもちろんですが、「自信の向上」「感覚統合の改善」「社会性のスキルの向上」にも効果があると言われています。水が大好きな人も、逆に苦手な人もいますが、子供達それぞれに適切な課題を設定して、目標を達成できるよう頑張っています。

学校運営連絡協議会の御紹介

6月5日(木)に第1回学校運営連絡協議会が開催されました。都立学校と地域社会のパートナーシップを確立し、地域全体で教育活動の質的向上を支援していくことを目的としています。保護者や地域の方々と意見交換を行う場として、平成13年度から全都立学校に設置されました。メンバーは地域の小中学校の校長先生や就前施設・就労施設の責任者、地域の自治会長、墨田区障害者福祉課、PTA会長など様々な方をお願いしています。本校の経営計画や授業を実際に見ていただき、御意見をいただきました。今回は「集団体育頑張ってた、でも環境が厳しい」「厳しい仕事だけでなく高校生らしい緩さも大事かも」「新人教員が多くなり専門性維持が難しそう」など、様々な意見が出され、学校としても気付かされることが多々ありました。頂戴した御意見を参考に学校運営に反映させていきたいと思えます。

副校長 榎本 学

運動会（小学部）

今年度も小学部高学年と中学部の運動会は、ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）で開催しました。校外での運動会は初めてでドキドキの4年生も、回数を重ねて落ち着いている5・6年生も、徒競走ではゴールを目指して走り、デカパンリレーでは友達と協力してアンカーまでデカパンをつないでいきました。ダンスでは各学年練習で積み重ねた力を発揮して、最後まで頑張りました。保護者の皆様の温かい応援も子どもたちの励みになりました。ありがとうございました。

（小学部：高橋 良汰）



運動会（中学部）

5月31日（土）にひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）で開催された運動会は、今年で3回目となりました。「徒競走」では、笛の合図とともに勢いよく走り出し、最後まで諦めずに走り抜ける姿がとても印象的でした。「大玉転がし」では、友達と息を合わせて大玉を転がしながら、笑顔で取り組む姿が印象的でした。ゴールを目指す中での応援に、仲間の繋がりが感じられました。雨の中での開催となりましたが、練習の成果をしっかりと発揮できた運動会でした。保護者の皆様には、温かい御声援と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

（中学部：渡辺 嵐士）



高1 校内実習（高等部）

高等部に入学して初めて進路活動として、6月2日（月）～6日（金）の5日間校内実習を行いました。職業の学習グループをもとに3つのグループに分け、各グループの教室作りや教室の清掃、作業するための長机の運搬、部材の準備を生徒全員で行いました。初めての進路活動なので、作業一つ一つにノルマを決めることはなく、挨拶や身だしなみはもとより、作業に向かう力、取り組む力、姿勢や態度、そして集中力に重きを置いて指導しました。最初はそれぞれのグループの作業に緊張した面持ちで取り組んでいましたが、日々作業に取り組むうちに緩やかに笑顔が見られるようになり、作業への緊張感もほぐれてきました。今回の校内実習は、進路への第一歩、「はじめの一歩」になりました。保護者の皆様には毎日実習日誌への記入や健康管理、温かい応援をありがとうございました。感謝申し上げます。次回は令和8年1月26日（月）からです。どうぞよろしくお願いいたします。

（高1進路指導部：石橋 恵美子）